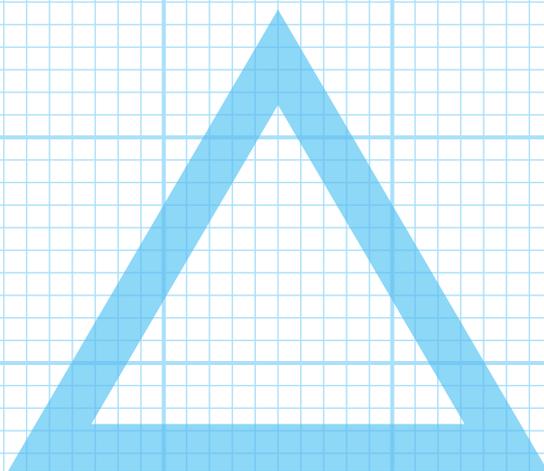


薪炭石炭共に竭き電気之に代り
て燃料となるべし

要約

薪炭、石炭が共に枯渇し、電気が代わりに
燃料になる。



〈解説〉

石炭は一次エネルギーであり、電気は一次エネルギーを転換及び加工する事により得られる二次エネルギーで、石炭も火力発電に使われ電気に転換されています。したがって、予言の表現が不的確といえます。

エネルギーについて少し触れておくと、日本の石炭の一次エネルギー供給量に占める割合は、石油の44.3%、天然ガスの24.5%に次ぎ3番目の23.4%です*1。また、電源別発電量では天然ガスの46.2%に次ぎ2番目で31.0%を占めています*2。

ちなみに、全世界の電源別発電量では41.2%で、2番の天然ガスの21.8%を大きく引き離して1番です*3。

一次エネルギーの中で地下資源の可採年数は以下の通りです。

石油：42年、天然ガス：60年、ウラン：100年、石炭：122年。

(石油、天然ガス、石炭は2009年、ウランは2007(平成19)年の確認可採埋蔵量から算出*4)

地下資源の可採年数に差はありますが、地下資源が有限であることは明白な事実です。

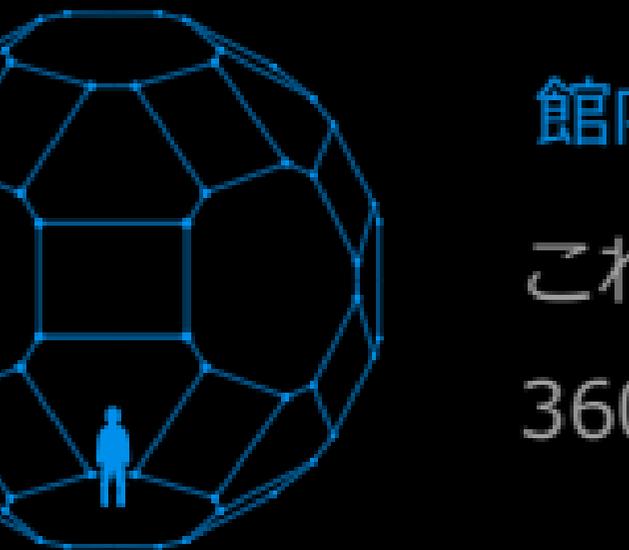
*1:2012(平成24)年度 *2:2014(平成26)年度 *3:2013(平成25)年度 いずれも資源エネルギー庁資料

*4:BP統計2009,OECD/NEA-IAEA[Uraniun2007]

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.